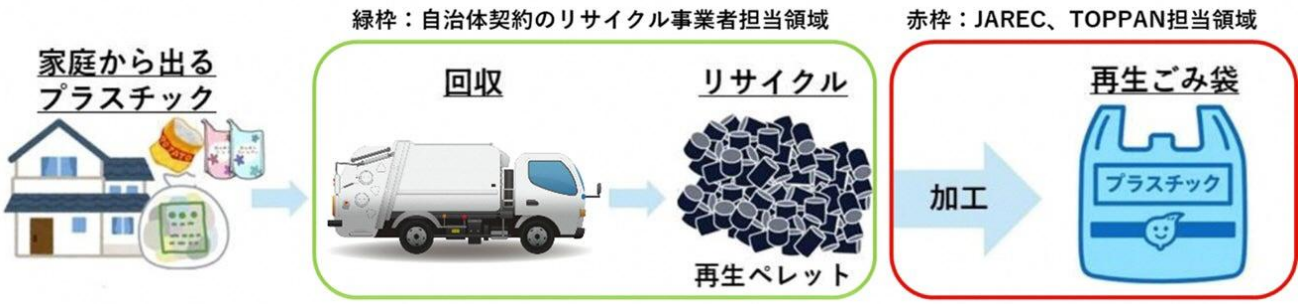
沼津市は、TOPPANと協働して、リサイクルごみ袋の使用に関する実証実験を行います！

沼津市では、週に1回「プラスチック製容器包装」を収集し、リサイクル事業者に引き渡しています。
このたび新たな取組として、TOPPANと協働し、家庭プラスチックごみ原料の「再生プラスチック配合ごみ袋」の利用検証を実施します。
TOPPANでは、回収されたごみを再資源化し、再生材として利用する一連の流れを、ごみが回収された地域内で完結させる地産地消型資源循環の実現を目的に体制構築を進めています。
今回、住みよい沼津をつくる市民運動実践活動用にご寄贈いただいたごみ袋（45リットル）は、沼津市内から排出された家庭プラスチックごみの再生材が使用されています。
このごみ袋の使用を通じて、地産地消型資源循環を身近に感じていただければと思います。

地産地消型資源循環のイメージ



詳しくは、こちらのリリース記事をご覧ください。
https://www.holdings.toppan.com/ja/news/2026/01/newsrelease260119_1.html

アンケートにご協力ください！

「住みよい」活動用



再生材配合ごみ袋 45ℓサイズ

※通常の家庭ごみの排出には使用できません。

アンケートのQRコード

ごみ袋ご利用後に、簡単なアンケート（所要時間5分程）にお答えください。
TOPPANにて今後のプラスチックごみの課題や、再生材製品の開発・改良に活用させていただきます。

TOPPAN × JAREC

AMRIA
Advanced Material Recycle and Innovation Alliance

AMRIA（高度マテリアルリサイクル研究会）は、JAREC（公益財団法人 全日本科学技術協会）が、現状では難処理なプラスチック容器等の課題解決に向けて設立した研究会です。

お問合せ：沼津市環境政策課 廃棄物対策係 TEL：055－934-4743